

資料 1

地域移行対象者概要

ア 対象者番号 13-②

27歳女性 知的障害、適応障害

入院日：令和2年9月

精神手帳2級、障害年金2級、愛の手帳4度

病院・市役所以外の支援体制：相談支援事業所

令和2年に自宅(家族同居)に退院後、就労継続支援B型に通所していたが、家族と衝突があり2ヶ月後に再入院(任意入院)となった。次に退院する際にはもう自宅では受け入れ困難と家族は考えており、主治医も同じ意見。

環境の変化に弱い、混乱するとパニックになり大声を出す、家族に対する暴力、知的障害ゆえに振り返りが出来ず他人のせいにするといった問題行動や課題がある。グループホームや施設への入居を目指して手続きを行っているが、体験利用中に精神的に不安定になり問題行動(大声、拒薬等)があり結局断られてしまい、まだ退院先が見つからない。

イ 対象者番号 31-①

36歳男性 統合失調症、知的障害

入院日：平成31年1月

精神手帳1級、障害年金2級、愛の手帳4度

家族が本人の退院に不安を覚えており、家族支援をしつつ退院を目指そうとしていた。

前回の協議会后、面会を予定し調整していたが、本人の体調不良により合併症転院が必要となってしまった。身体疾患治療のために精神科薬を止めていたことから帰院後も精神症状が悪く、現在は退院支援を実施できる状況にない。面会は当面延期してほしいと病院から連絡があった。

ウ 対象者番号 6-①

49歳男性 神経症→前庭神経炎、てんかん性めまい、うつ病

入院日：平成28年9月

手帳等なし

病院・市役所以外の支援体制：生活保護(他市)

10月に面会を実施。アンケートには「神経症」と記入されていたが、めまいを主症状とする「前庭神経炎」と「てんかん性めまい」、「うつ病」であった。

市内の無料低額宿泊所に住んでいたが、勝手に出て行ってしまい、他市内で動けなくなり救急搬送され入院となった。その後、精神科病院に転院し現在も入院中。めまいに関しては専門科で検査等を受けたが原因不明で心因性の可能性も否定できない。短時間の立位保持はできるが歩行はできないため、現在は車いすを使用し足で漕いで移動している。身体障害者手帳を取得する要件に当てはまらないため、身体障害の障害福祉サービスは利用できない。

退院し「いずれ自活したい、仕事をして自分の力で生活をしたい、一般人になりたい」と話すものの、病院の外で車いすを使った生活をしたことがないので想像ができない。歩行のリハビリは受けているものの、どれくらい改善するかはわからない。

家族等は全員行方不明。先述の通り入院前に小金井市内の無料低額宿泊所に住んでいたものの小金井市にゆかりがなく土地勘もない。どこに住みたいか、そのためにどのような手続きが必要かといった課題がある。